

風早北部 防犯情報 しょうなん

行動無くして結果生まれず

SHOW "No Action No-result"



7月は「青少年の非行・被害防止月間」 ネット関連の犯罪に注意しましょう

7月は例年、「青少年非行防止、被害防止強化月間」です。政府広報オンラインサイトから抜粋して注意喚起内容をご案内します。

* * * * *



子どもたちにとって待ちに待った夏休み。学校以外で様々な体験ができる機会ですが、一方、学校や勉強から解放されて、子どもたちの気もゆるみがちになり、夜遅くまで出歩いたり、お酒やたばこに手を出したりするなど、非行の兆しが出やすい時期でもあります。加えて、夜遅くまで出歩くなどにより、犯罪被害に遭う危険も高くなります。

危険が潜むこどものインターネット利用

インターネット上の世界には、子どもたちにとって役立つ情報がたくさんある一方で、暴力的な表現やアダルト画像といった悪影響を及ぼす有害な情報も数多く存在します。また、メールやインターネット掲示板、SNS等のコミュニティサイトについても、利用方法を誤ると自分が気付かないうちに見知らぬ人に個人情報を知られてしまうなど、様々なトラブルが生じる危険があります。



SNSにひそむ性被害の危険

SNSに潜む性被害に危険にも注意が必要です。児童がSNSを通じて知り合った面識のない者に脅かされたり、言葉巧みにだまされたりして、自分の裸体を撮影した上、メール等で送信する形態の児童ポルノ製造被害は、高水準で推移しており、被害に遭う小学生が増加傾向にあります。

このような被害が実際に起きています！！

- A子（10代）は、SNSで知り合った男から、「自分の裸の画像を送るから、あなたも送って」などと言葉巧みに誘導され、わいせつな自画撮り画像を送信させられた。さらに、その画像は、第三者にも拡散していった。
- 動画共有アプリに動画を投稿していたB子（10代）は、小学生の男子になりすました男から言葉巧みにだまされ、わいせつな自画撮り画像を送信させられた。

非行や犯罪被害の危険が多い「深夜のはいかい」

夜遅くの外出には危険がたくさんあります。恐喝や暴行、性犯罪等の被害に遭う危険もあれば、喫煙・飲酒等の不良行為を行うきっかけとなる誘惑も潜んでいます。

警察では、少年警察ボランティア等と連携して補導活動を行うとともに、深夜にこどものたまり場になりやすいカラオケボックスやゲームセンター等の娯楽施設、またコンビニエンスストア等に対して、不良行為の防止等の自主的な取り組みを行うよう働き掛けを行っています。



大麻や覚醒剤等の薬物は身近な場所にも

薬物乱用の恐ろしさは、乱用者の心身に深刻な影響を与えて健康を損なうことに加えて、繰り返し使用することで、さらに使用を重ねたくなる「薬物依存」を引き起こすことにあります。そのようになると、自分の意志ではやめることができなくなり、身体と精神を破壊してしまいます。

大麻や覚醒剤等の薬物乱用は少年にまで広がっており、特に大麻乱用の拡大が深刻化しています。近年、大麻乱用で検挙される少年は大幅に増加しており、令和5年（2023年）は過去最多になりました。大麻の不正な栽培や売買、所持は法律で厳しく規制されていますが、インターネット上や友人・知人からの「大麻は他の薬物より安全、害がない」「少ない量の大麻なら依存症にはならない」などという誤った情報をうのみにして、好奇心やその場の雰囲気ですぐに乱用するなどの例が後を絶ちません。合言葉「ダメ、絶対！」です。

